

YOKA GOURMET



ほかほか出来たて
ポークたまごおにぎり **ポータま**



そらよかダイニング(商業棟) **1F** Tel / 096-201-8880 Open / 7:00 - 19:00 イートイン・テイクアウト OK

ココでしか味わえない

「あか牛ステーキ」が人気No.1!

沖縄発のポークたまごおにぎり専門店「ポータま」のこだわりは作りたてを提供すること。阿蘇くまもと空港店で最も人気があるのは「あか牛ステーキ」(¥1,200)で、「ちくわサラダ」(¥750)は子どもにも好評だそう。この2種類と「からし蓮根」(¥700)はこの店舗だけの限定メニューなので要チェック!ほかに定番の「ポータま」(¥390)など12種類が食べられます。どれも熊本・阿蘇の白川水源米(コシヒカリ)と有明海の手巻を使用。



精米して4日以内に炊いたご飯は、香りやうまみ、甘みが一層引き立っています▶

◀ ジューシーでやわらかな「あか牛ステーキ」とポータまのコラボをぜひ味わって

飛行機に乗らなくても立ち寄れます♪



「自慢のポータまを食べに来てくださいね」家中弘子さん(左)とスタッフの皆さん

information

イベントカレンダー

2024. Apr.-Jul.

4月	6-16日	第2回阿蘇ちようちん祭 (阿蘇市)
	19-21日	牛深ハイヤ祭り (天草市)
	20-21日	山鹿温泉祭 (山鹿市)
	21日	大津つつじ祭 (大津町)
5月	3-4日	火の国長洲金魚まつり (長洲町)
	17日-6月1日	高瀬裏川花しょうぶまつり (玉名市) メインイベントは5/25
6月	1日	第2回熊本空港マラソン
7月	28日	阿蘇神社御田祭 (阿蘇市)
	下旬	あゆまつり (甲佐町)

※天候等諸事情により変更または中止になる可能性があります



第2回熊本空港マラソン 2024. **6.1** Sat. 開催!

阿蘇くまもと空港の滑走路を走る10kmコース

※一般エントリーは締め切りました



詳しくはこちら▶

「そらよか」創刊にあたって



熊本国際空港株式会社
代表取締役社長

山川 秀明

このたび、阿蘇くまもと空港の広報誌を創刊する運びとなりました。新しく生まれ変わった空港を身近に感じてもらえるよう、空港施設や働くスタッフ、グルメなどの多彩な情報をお届けします。みなさんに「そらよか」が「それいいね!」と反応いただける情報の発信に努めますので、引き続き手に取っていただければ幸いです。



阿蘇くまもと空港
公式Instagram

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

Aso Kumamoto Airport News Letter

創刊号

soarayoka

そらよか

2024.4
SPRING

居心地のいい空港へ ターミナルビル開業1年

熊本地震からの“創造的復興”のシンボル
ターミナルビルをご紹介します

English



简体中文



繁體中文



한국어



YOKA GOURMET 「ポータま」 information

「そらよか」創刊にあたって



「Sorayoka(そらよか)」は、阿蘇くまもと空港(熊本県益城町)の広報誌です。空港のイメージ「そら」と、熊本の方言で「良い」を表す「よか」を組み合わせた名称で、「それいいね!」という意味も込められています。英語版、中国語版(簡体字・繁体字)、韓国語版はQRコードからご覧いただけます。

そらよか April. 2024 [創刊号] 発行/熊本国際空港株式会社 (熊本県上益城郡益城町大字小谷1802-2)

KKIAC vision / 訪れる人も、働く人も、笑顔になれる、世界でいちばん居心地のいい空港になる





居心地のいい空港へ ターミナルビル開業1年

熊本地震からの“創造的復興”のシンボルとされる阿蘇くまもと空港の旅客ターミナルビルは、2023年3月23日にオープンしました。国内線と国際線の機能を一体化したことで使いやすくなり、飛行機に乗る人が利用できる搭乗待合エリアの充実も話題に。開業から1年を機に、ターミナルビルの特長についてお伝えします。

K Kumamoto “らしさ”へのこだわり

1 2 3

飛行機で熊本を訪れた人をまず出迎えるのは、到着ロビーにある阿蘇五岳の壁画アート。熊本を流れる白川の砂利を使い、左官の技術で制作されました。天井には熊本が誇るブランド材・小国杉をふんだんに用い、温かみのある空間が広がっています。県産材は外の大ひさしやエントランスにも。旅客ターミナルビル全体の木材使用量は694㎡で、このうち82%にあたる568㎡が県産材です。

- 4 熊本城をイメージした外観は黒色と白色のラインがリズムカルに並び、陰影を強調しています。熊本城の石垣「武者返し」がモチーフとなった反り返ったデザインも目を引きます。
- 5 案内板(サイン)を中心に、ドーナツ形のアイコンがあちこちに。熊本城を築いた加藤清正の家紋「蛇の目」や熊本の位置を端的に示した「九州の中心」、豊かな水資源を象徴する「水の波紋」、「阿蘇のカルデラ」といったさまざまな意味が込められています。
- 6 飛行機のスケジュールを伝える情報端末「FIS(フライトインフォメーションシステム)」には、くまモンが登場。さまざまな表情をお楽しみください。

TOPIC

新しい旅客ターミナルビルは「第29回熊本県木材利用優良施設コンクール」(県など主催)で、「熊本県木材協会連合会賞」を受賞! 県産材を多用した実績が評価されました。



S Shopping 充実した搭乗待合エリア

保安検査後の搭乗待合エリアには、熊本のグルメや土産物を取りそろえた25店が並んでいます。店舗面積は約2,500㎡で、従来の46倍という規模。国内線・国際線のいずれの旅客も利用できる“内際一体型”は珍しく、全国から視察が相次いでいます。



「フードコートゾーン」では阿蘇の人気グルメや天草の海の幸が提供され、「デバ地下ゾーン」ではからしれんこんなどの実演販売を楽しめます。服飾雑貨やアミューズメントのお店もあり、バラエティー豊かです。



多くの座席にコンセントの差し込み口やUSBポートを備えました。飛行機を眺めながらゆったりと過ごせるソファ席もあります。



S Safety “安全・安心”を確保



※防火防災訓練(2024年3月)

熊本地震の教訓を踏まえ、短期間に揺れを繰り返す大地震にも耐える構造です。電気は複数の系統から送れるようになっていて、万が一に備えた非常用発電機は72時間稼働します。ターミナルビルでの火災を想定した防火防災訓練など、“安全・安心”のための取り組みも続けられています。

TOPIC

旅客ターミナルビルに隣接する商業棟、広場、観光交流センターからなる「そらよかエリア」が今秋オープンします。空港を訪れる全ての人が利用できる場所となりますのでお楽しみに!

